

(2) 中期経営計画の内容

① 事業領域の再編

段階的に既存の事業領域を再編し、熱機器部門の農用機器を農用事業と位置づけ、既存製品のサービス・メンテナンス事業に特化した事業展開を計画しております。

a. 農用事業

従来、「ネポン＝暖房機のメーカー」としてのイメージが非常に強かったが、施設園芸全体の底上げとして『施設園芸のトータルコーディネーター』を掲げて、生産者に対し「増収」・「省エネ」・「省力」を出来る企業を目指し、施設園芸用温風暖房機のみならず関連機器の開発・拡販に注力します。また、原油価格の高騰に伴い需要が伸びている施設園芸用ヒートポンプの販売拡大に努めます。

b. 既存製品のサービス・メンテナンス事業

従来同様に突然のサービスに対応出来る体制であり、さらに、既存製品の保守・定期点検契約を推進し、サービス・メンテナンス事業を確立して収益力の増大に努めます。

② 配管継手市場への参入

当社が手掛けてきた施設園芸等に伴う配管工事に於いて、工期の長期化と長期化に伴うコスト高の問題がありました。これを解決する過程で配管の着脱に容易かつ確実な配管継手を開発することが出来ました。

新しい機能を備えたステンレス製継手（NPジョイント）は、農用事業に留まらず一般の配管資材としての汎用性も高く、また季節性及び油価に左右されない安定した収益の確保を目標とし配管継手市場に参入することを決定しました。

③ 固定資産の売却

金融機関からの借入金を早期に圧縮するために、固定資産の売却を検討しております。

④ 統廃合及び人員の再編

本社業務を厚木に集約すること及び事業領域の再編による人員の再配置並びに合理化を図ります。

(3) 業務提携及び資本増強策の実行

① 業務提携

当社は、渡辺パイプ株式会社と取引関係にある当社の熱機器部門、衛生機器部門において、販売ルートの活用、資材調達、物流及び倉庫の最適運営等、シナジー効果を上げるため今後の事業展開についての協議を行います。

② 第三者割当による新株式の発行

当社は、渡辺パイプ株式会社との関係強化を図ると共に、平成20年1月4日付「当社株式の上場時価総額に関する件」によりお知らせしたとおり、当社株式の上場時価総額に関する上場廃止を払拭する事を目的として、第三者割当増資を行うことといたしました。

(4) 損益計画

今後3年間の業績予想は以下の通りです。

単位：百万円

	平成18年度 実績	平成19年度 見通し	平成20年度 計画	平成21年度 計画	平成22年度 計画
	(H18.4~H19.3)	(H19.4~H20.3)	(H20.4~H21.3)	(H21.4~H22.3)	(H22.4~H23.3)
売上高	8,235	7,900	8,000	8,100	8,200
営業利益	△341	100	170	220	260
経常利益	△400	40	100	150	200
当期純利益	△40	△190	70	120	100

- (注) 1 平成19年度は、平成19年11月14日付によりお知らせしました通期の業績予想です。
2 平成20年度以降の数値には、渡辺パイプ株式会社との業務提携による効果は反映しておりません。

3. 上場維持について

当社は、上記「2. 今後の展開」に記載いたしました事業計画を推進し、業績の改善を図り、市場からの評価を高め、上場時価総額を10億円以上に回復させ、今後とも株式会社東京証券取引所上場維持に努めたいと考えております。

以 上